

令和6年度 事業報告  
認定こども園百石幼稚園の取り組み

令和6年度 事業方針

- (1) 子供の健やかな育ちを第一に活動を行う
- (2) 子供の育ちは親の育ち 保護者の教育力を高める活動の促進
- (3) 子供は地域で育つ。地域貢献活動の促進
- (4) 常に質の良い教育を行うための、職員研修の強化
- (5) 保育教諭の確保に向けて、働きやすい職場環境を作る

令和6年度 事業実施内容

事業実績報告と運営方針(重点事項)の評価

評価 A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった

(1) 子供の健やかな育ちを第一に活動を行う・・・評価 B

項目	活動内容
保育環境整備	子どもの遊びが深まる園庭づくりを行い、安全で学びが深まる環境づくりを進める。 新 エカーズを使った環境チェックの取り組み
教育課程	学期に1回のカリキュラムマネジメントを行い、園児の実態に即した保育を行う。
第三者評価	学校関係者評価 第1回 5/16 (木) 10:00~11:00、第2回 2/25 (火) 10:00~11:00 新 ECEQ への申請準備 (令和7年度開催予定分)
評価の理由	保育環境整備として、環境チェックを行った。その際当園の良さや不足している部分などが見られた。教諭は不足しているところをすぐに改善したが、時間経過とともに緩む部分もあったため、継続的に改善を行えるよう定期的なチェックを継続する必要がある。

(2) 子供の育ちは親の育ち 保護者の教育力を高める活動の促進・・・評価 A

項目	活動内容
教育啓蒙事業	百大 10 回程度予定。50 周年事業とタイアップ ➡5/20 マインドフルネス 6/19 絵本の窓 7/2 浴衣の着付け 8/30 ママ磨きランチ 9/6 チェンバロコンサート 11/6 オータムコンサート 12/13 クリスマスリース 1/14 クッキングランチ 1/11 アロマクリーム 2/8 メモリアルコサージュ

	父親会 5回 5/11 顔合わせ会 7/6 運動会、7/20 夏祭り 11/2 イルミネーション設置、3/1 イルミネーション撤去 楽しみながら貢献する場の提供
子育て支援事業	
預かり保育	フレネ教育をイメージした主体的な活動目標を作って、預かり保育の質の向上を図る。そのために、活動記録をまとめる。
一時保育	弟妹の一時受け入れ
学童保育	小学生の一時受け入れ
障害児保育	9名申請予定 ➡ 11名申請
<b>評価の理由</b>	50周年との共同企画として、多様な学びを園関係者を講師に行うことができ、参加者にも楽しんでいただくことができた。 コロナ以降の直接的な活動も増やすことができ、保護者同士のつながりも再構築に向けて動き出している。預かり保育は、子供たちの活動についての振り返りを職員会議でも行い、重要な学びの位置づけとして再認識することができた。障害児保育に関しては、保護者の同意をいただき必要な支援を届けることができ、且つ関係機関との連携を十分に図ることができた。

(3) 子供は地域で育つ。地域貢献活動の促進・・・評価 A

項目	活動内容
女神祭り	予定があれば参加・・・なし
お祭り	参加 9月22日(日)・・・雨天により中止
生涯フェスタ	参加 10月19.20日・・・参加 合奏の参加及び、展示は保育の理解を深めるような内容を検討・・・50周年記念となる演目及び幼稚園の歴史を見せる展示ができた。
稚魚放流	参加希望。休日の場合は参加希望の保護者ととも職員も1名以上参加する・・・参加予定
あじゅまる広場	活動があれば参加・・・1月10日、11日写真展開催 地域を盛り上げる活動として、職員も積極的に参加する。
消防関係	防火フェスティバルの参加・・・参加及び祝賀会参加
洋光台敬老会	11月中旬 要望があれば年長組有志で演技披露・・・11/9 参加
その他	6月23日いちょうマラソン応援旗 10月26日JAおいらせ出演 11月9日 イオン点灯式参加、11月18日会社訪問
<b>評価の理由</b>	地域の活動に積極的に参加することができた。参加は主に年少児が多

	いたため保護者の負担が減るよう有志の参加としたり、発表の内容も練習の負担が少なくなるような演目とし、園児も保護者も職員も継続的に参加できるよう工夫できた。
--	---

(4) 常に質の良い教育を行うための、職員研修の強化・・・評価 A

項目	活動内容
園内研修	園の理念を理解し実践するためのディスカッション方式の園内研修の実施 <b>新</b> 3PLAY を取り入れた相手を尊重する保育の実践 <b>新</b> 目標設定の練習と問づくりの実践 上記を通じて、保育の質の向上を図り、教育力を上げる。
園外研修	学びの目的にあった研修を精査し、学びを充実させるとともに、研修報告を職員間で共有し、学びが次の保育につながるようにする。 ➡5/5 東通村認定こども園視察 5/18 熊本荒尾第一幼稚園視察 9/20 千葉幼稚園 ECEQ 参加 9/18 聖アンナ幼稚園 ECEQ 参加 12/17MBL 公式講座受講 そのほかキャリアパス研修、教員研修大会参加等
評価の理由	50 周年記念行事があり忙しい中でも、園内研修は次年度に行われる ECEQ を想定した問づくりを練習することができた。問いを立てることで日頃の保育の中の疑問や困りを考え改善する思考が育ち、日常的に問い立てする様子も見られた。 園内研修についても同様に、行事が立て込むときでも機を逃さず学ぶことができ、よく取り組むことができた。

(5) 保育の質を維持するのは厚い職員体制、働きやすく多様に働ける職場環境を作る

・・・評価 C

項目	内容
処遇改善	キャリアパスフレームによるリーダー職の任命。
採用・定着	ハッピーメーカー月刊発行 OJT 計画と実施
評価の理由	今年度は、自己評価に加え管理者評価を行い、その結果を賞与に一部反映させるなど、職員の頑張りを認められる取り組みを行った。一方で、職務に十分に取り組めていない職員に対して面談等を行ったが、改善することが出来なかった。 特に中途採用の職員については、職務の目的や当園の理念とそれに伴う行動指針、評価制度などを OJT の時点でしっかりと理解してもらい、双方に納得のいく評価ができる必要があると感じ次年度への課題とする。

(6) かけがえのない園であるために ファンが生まれる幼稚園 園児募集計画・・・  
**評価 A**

項目	内容
親子教室	<p>利用者のニーズに合わせてながら、より多くの人に幼稚園に足を運んでもらえるようにする。</p> <p>対象者は、妊産婦、乳幼児の保護者及び家族</p> <p>イオンの広報スペースを一層活用する</p> <p>登録者数目標 有料部分 20 名目標 ➡18 組</p>
情報発信	<p>通信の場所拡大。定期的に出す、ブログ、FB、インスタを有効活用</p> <p>定期的な季刊誌の発行。年 4 回。内容は 0 歳から幼稚園の定着</p> <p>新百幼ハッピーチャンネルで、50 周年記念企画動画配信（同窓生へ向けて。その中で園児募集についても触れる） ➡毎月配信</p>
ロング コンタクト	<p>はがきは余裕をもって投函。</p> <p>OB 会 前田 新山 担当</p> <p>成人お祝はがきの戻りは、できる限り再送。</p> <p>新卒園児保護者の声を集めて発信・・・記念誌で掲載</p> <p>新大同窓会開催・・・11 月 9 日開催</p>
<b>評価の理由</b>	<p>親子教室は参加率も高く、ほとんどの方が入園につながるなど、子育て支援及び園児募集事業として一定の役割を担った。次年度についても新規の申し込みを広く募り、子育て支援が行き届くようにしたい。</p> <p>ロングコンタクトとしては 50 周年記念事業として、第 1 回目の卒園児から全員へお手紙を送付。戻りについてもできる限り配れるように再送を繰り返し、できる限りのコンタクトを図った。50 年という歳月により追えない部分も多く、今後は複数の方法でコンタクトできるようにしたい。</p> <p>情報発信としては、毎月の配信を行った。まとめとして記念誌の発行を行う。</p>

認定こども園百石幼稚園 令和4年度施設関係者評価 結果

評価機関 令和7年2月25日(火)

評価者 3名 (関係保育施設園長、近隣小学校校長、父母の会会長)

評価方法 資料及び保育見学による評価の聞き取り

評価内容

1、園の活動について

今年度の百石幼稚園の取り組みについて、資料・保育をご覧いただきご興味があったことや、取り組み内容について、ご意見・ご評価をお知らせください。

・体験を通じて学びを行うことがよく取り組まれていて素晴らしい。先日発表されたソニーの科学する心を育てる取り組みの最優秀賞では、子どもたちの体験を絵本にする様子が発表されたが、今日の活動でも同じような様子が見られていた。やってみて改善をしながら取り組んでいくことは、小学校以降の学習の基礎になってくるため、どんどん体験してほしい。

子どもの感性を広げ達成感に気づかせることや、協力する喜びなどを知らずに身に付けている縦割り保育の良いところが、活動から垣間見られた。

友達も自分も認め合い、相互理解を図っていくことはとても大事であり、園での取り組みを学校でも生かしていきたいと思う。

・兄弟以外でも手をつないで、肯定的な言葉がけをしながら年少児に関わっている様子を見て、先生方の普段の姿から子どもたちがよく学んでいることがわかった。子どもは環境から学ぶので、家でも気を付けていきたいと思う。

子どもが作ったものを、間違っているものでもそのまま受け止めてくれていて、自分たちが取り組んだ！という達成感につながると思ったので、ありがたい環境だと思った。

・環境として、園も保護者も双方に理解し合うことが大事であるが、百石幼稚園では保護者とのやり取りがよくなされていると感じた。保護者の意識も高いのではないかと。

また、子どもたちの活動がスムーズに行われており、日頃の保育がしっかりとされているからだと感じた。

・日頃の積み重ねが3年、4年と積み上がり文化になっていくなかで、子どもたちが自然と良い関りを行っていることが伝わってきた。